

<認知症対応型共同生活介護用>

<小規模多機能型居宅介護用>

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	10
1. 理念の共有	1
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	4
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	1
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	1
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	0
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	5
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	1
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	0
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	3
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	7
1. その人らしい暮らしの支援	5
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	23

事業所番号	1471001162
法人名	有限会社 舞シャンブル
事業所名	グループホーム 舞シャンブル
訪問調査日	令和6年3月8日
評価確定日	令和6年5月7日
評価機関名	株式会社 R-CORPORATION

○項目番号について

外部評価は23項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

○記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[次ステップに向けて期待したい内容]

次ステップに向けて期待したい内容について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

令和5年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1471001162	事業の開始年月日	平成16年6月1日	
		指定年月日	平成16年6月1日	
法人名	有限会社 舞シャンブル			
事業所名	グループホーム 舞シャンブル			
所在地	(244-0813)			
	横浜市戸塚区舞岡町1273			
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護		登録定員	名
	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護		通い定員	名
			宿泊定員	名
			定員計	18名
			ユニット数	2ユニット
自己評価作成日	令和6年2月10日	評価結果 市町村受理日	令和6年5月31日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

感染状況に考慮しながらも、他者とのコミュニケーションをとる機会を設け、社会性の向上を図る。特に、家族との時間を回復し、本人にとっての生活の糧となるよう努めている。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 R-CORPORATION		
所在地	〒231-0023 横浜市中区山下町74-1 大和地所ビル9F		
訪問調査日	令和6年3月8日	評価機関 評価決定日	令和6年5月7日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

●この事業所は有限会社舞シャンブルの運営です。2004年に開設し、今年で開所20年を迎える戸塚区内でも歴史と実績のある事業所です。立地は、横浜市営地下鉄「舞岡駅」から舞岡公園方面に向かって徒歩10分程、畑や竹林、雑木林が残る長閑な場所にありません。周囲には保育園や高校等の文化施設、昔ながらの田園風景、多くの自然や遊歩道、谷戸の地形を生かした舞岡公園、研修センターの「舞岡ふるさと村虹の家」もあります。

●ケアについては「受容と自立」を理念とし、「生活支援の基本・生活の質を確保」する為に、6つのケア方針を掲げてケアに臨んでいます。ケア方針は「①自己決定の尊重②プライバシーの尊重③残存能力の活用④継続性の尊重⑤環境の重視⑥安心、安全、清潔の重視」とし、入職時のオリエンテーションや、会議等で折に触れて話し、このケア方針に基づいた支援が実践できているか振り返りながら、利用者にとって「最良の生活の場」を提供できるよう支援に努めています。

●管理者は、昨年からコロナウィルスも5類に移行したことに伴い、コロナ禍以前の日常生活を取り戻すことを目標とし、日々の散歩・外出行事(レク)の再開や、家事・掃除・洗濯などの家事も利用者にやっていただくようにして、ADLの維持・向上に取り組んでいます。ボランティアの受け入れも段階を経ながら徐々に再開し、外部の人との関わりを持つことで、社会性の維持・向上を図れるようにしています。

●地域貢献の一環として、職業訓練校に通っている人達の就職先として受け入れるなどの就労支援を以前から継続して取り組んでいます。働いている職員の理解もあり、管理者をはじめ経験のある職員が不得手な部分をフォローしながら、1つのチームとして利用者の支援を行っています。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 10
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	11
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	12 ~ 16
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	17 ~ 23
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホーム舞シャンブル
ユニット名	すみれ

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I 理念に基づく運営						
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域密着型に沿った理念のもと、全職員にてケアを行っている。	事業所では「受容と自立」を理念とし、理念に則った支援を行う為に6つのケア方針「①自己決定の尊重②プライバシーの尊重③残存能力の活用④継続性の尊重⑤環境の重視⑥安心、安全、清潔の重視」を作成しています。理念とケア方針については、職員が集まる会議等で折に触れて話し合い、日々のケアで実践につなげられるよう、共有しながら取り組んでいます。		今後の継続
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	年末にボランティアの受け入れ再開を検討していたが、インフルエンザ流行にて再開延期となる。	コロナウィルスは5類に移行したタイミングで、ボランティアの受け入れ再開を検討していましたが、他の感染症が猛威を奮っていたことにより、受け入れを延期しています。事業所として町内会に加入しており、町内会館の新築工事に伴い、寄付を行うなど、町内会の一員として、出来る限りの協力を行っています。事業所周辺は街灯が少なく、冬場は、外観に取り付けているイルミネーションが、防犯対策につながっています。		今後の継続
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	ほとんどが電話対応となっているが、時期を見て訪問したい方が若干増加傾向にあり。			
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	今までの書面開催から、対面方式に戻りつつあるが、参加者の確保が困難。	コロナウィルスが5類に移行したタイミングで、書面から対面に戻して、2ヶ月に1回開催しています。町内会役員・地域包括支援センター職員・家族に声かけしていますが、曜日の関係で家族の参加を得ることが難しい現状になっています。事業所の現状や活動状況、事故・ヒヤリハットに関する報告や、地域の情報など、様々な意見交換の場となっています。		今後の継続
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	横浜市・戸塚区主催のグループホーム連絡会に参加し、意見交換を行っている。	横浜市や戸塚区の担当者とは、メールでのやり取りが主となっており、研修等の案内や、相談等もメールで連絡を取り合っています。加入しているグループホーム連絡会は、対面開催となり、2,3ヶ月に1回集まって、情報共有や意見交換を行っています。殆どはZoom開催ですが、意見交換を行っています。地域包括とは、運営推進会議のメンバーとして、事業所の実情を把握していただいています。		今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	定期的なアンケート・研修を行い、身体拘束についての理解に努めている。	入職時のオリエンテーションで、身体拘束に関する研修を行っています。入職後はe-ランニングにて年2回身体拘束防止研修を行い、具体的な行為や定義について学び、理解を深めています。3ヶ月に1回身体拘束適正化委員会(管理者・主任・副主任)を開催し、事例を用いた話し合いや、意見交換が行われています。身体拘束適正化委員会で話し合った内容は、全職員に内容周知を行うと共に、事業所において身体拘束の必要性のある利用者の有無、グレーゾーンについても確認しています。	今後の継続
7	6	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	定期的な研修等にて努めている。	入職時のオリエンテーションで、高齢者虐待に関する研修を行っています。入職後はe-ランニングにて年2回高齢者虐待防止研修を行い、具体的な行為や定義について学び、理解を深めています。定期的に職位に高齢者虐待防止に関するアンケートを実施している他、年3回は虐待の芽チェックリストを用いた自己点検も実施し、不適切ケアの確認や日々のケアの振り返りにつなげています。	今後の継続
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在の入居者様では生活保護者での該当者が多く、都度支援させていただいている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	努めている。		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	電話連絡や書面・電子メールでの連絡の際に、意見を交換できるよう努めている。	入居契約時に、重要事項説明書に明記している苦情相談窓口(事業所・横浜市・国保連等)について説明しています。家族からの意見や要望は、電話やメール連絡時に何うようにしています。家族からの意見・要望が聴かれた際には、連絡ノートや申し送りで共有し、検討したうえで、ケアや運営に反映させるよう努めています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	外部評価		
			自己評価 実施状況	外部評価 実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	2ヶ月に一度のカンファレンスを再開し、各職員と意見を交換する場を設けている。	職員からの意見や提案は、2ヶ月に1回開催しているカンファレンス(去年11月より再開)で聴き取りを行い、業務やケア改善に向けて検討していますが、日々の申し送りや全体LINEを活用して、タイムリーな意見交換や提案も行われています。LINEでは、個人情報に関する遣り取りは禁止とするなど、情報漏洩にも留意しています。3ヶ月に1回の主任会議では運営に関する話し合いも行っています。	今後の継続
12	9	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	シフト作成の際に個々の生活の考慮し、バランスを取っている。	各ユニットに主任を配置し、主任が中心となって現場の声を吸い上げ、業務内容や業務体制の見直しを適宜行う体制を取っていますが、内容によっては管理者にも報告・相談して反映させるなど、働きやすい環境整備に努めています。管理者は職員の勤務状況・資格・勤続年数を把握し、個々に応じて向上心を持って働けるよう助言しています。シフト作成においても、ワークライフバランスに配慮しています。	今後の継続
13	10	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	努めている。	職員の教育については、法人で資格取得支援制度や、勉強支援、休職制度があり、これらの制度を活用しながら、職員の経験年数や希望に応じて積極的に外部研修の参加を促し、職員が意欲的に学べる機会を提供しています。また、人事考課に伴って実施している年1回の個人面談では、勤務姿勢や業務における自己評価の実施や、併せて個人目標も聴き、管理者から助言などを行っています。	今後の継続
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	電話やオンラインを中心として交流を図っている。最近では徐々に対面も復活してきている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	状況に合わせた提供を考慮し、都度話し合いのなかで検討している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	レクリエーション等を通して他者との関わりを増加を図っている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族面会の制限を緩和し、時間の確保に努めている。		
20	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	職員間だけでなく、外出等を進め、関係の維持に努めている。	利用者にとって一番の馴染みは家族や親類であることから、入居後も気兼ねなく面会に来てくださいと声かけしています。家族や親類のみならず、友人が来訪されることもあり、その際は、家族に確認を取ってから面会していただくようにしています。家族が来訪された際に、外出されている方もおり、その方に合わせた支援を行うことで、馴染みの関係が途切れないよう支援しています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員を介して他者とのコミュニケーションの機会の増加を促している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	関係の継続に努めているが、他利用者様との関係が継続することが困難。（面会制限等）		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人からの訴えを第一としているが、訴え内容が抽象的だったり、達成困難な場合等、ご家族の力も借りている。	入居前面談で、生活歴・趣味や趣向・ADL・暮らし方の希望などを聴き取りながら、アセスメントシートを作成しています。アセスメントシート情報は家族からの聴き取りが多いため、入居後は、本人との会話や、訴えを第一とし、本人の思いや意向の把握に努めています。居室担当者はADLやIADLに関する情報、ケアの対応を主に把握・検討するようにしています。	今後の継続
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人の希望はもちろん、家族からの要望にも合わせた計画の作成を行っている。	入居時のアセスメントで得られた情報を基に初回の介護計画を作成し、暫定で1ヶ月程様子を観察しています。その後は、事業所での暮らしぶりやアセスメントの情報を基に改めて介護計画を作成しています。2ヶ月に1回開催しているケアカンファレンスで、個人記録、職員の気づき等を基にモニタリングを行い、その方の現状に即した介護計画を作成しています。短期目標は3ヶ月、長期は6ヶ月で見直しを基本とし、介護認定期間と併せて更新しています。今後は、ICT化への移行を検討しています。	今後の継続
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個々の記録により把握に努めている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	外出等の機会を増やし、継続した支援に努めている。		
30	14	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	決まった往診だけでなく、希望にあわせ受診できるように努めている。	入居時に協力医療機関に切り替えることのメリットや、デメリットなどを説明したうえで、本人や家族の意向を尊重して主治医を決めていただいています。内科の訪問診療は月2回、歯科医は、無料検診後の結果を家族に伝え、必要な方もしくは希望する方のみ契約し、口腔ケアや治療などの処置を受けています。看護師資格を有している職員が週1回出勤して、健康管理や爪切りなどの処置を行っています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	定期的に変化を記録し、医師・看護師が把握しやすいように努めている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	救急搬送の場合にかかる医療機関関係者との連絡を小まめに行い、入・退院時の対応の相談を行っている。		
33	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	施設内にて行える範囲を明確化し、状況に応じて往診医との話し合いの場を設けている。	入居契約時に「重度化や終末期における指針」に基づいて、事業所で出来ること、出来ないことについて説明し、同意書を取り交わしています。事業所では、状態の変化が見られた際に、早めの段階で家族・医師・管理者による話し合いの場を設け、今後の方針も含め、家族の意向を確認しています。看取りを希望される場合には、看取りの介護計画を作成し、穏やかな終末期を迎えられるようチームとして支援しています。管理者は、今後を見据え、喀痰吸引の研修受講を検討しています。	今後の継続
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的な研修の場で身に付けるよう努めている。		
35	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	半年に一度の避難訓練を行い、夜間想定型など、その都度内容変化し行っている。	年2回、火災と地震を想定した訓練を実施し、歩行できる方には一緒に参加していただくようにしています。うち1回は消防署職員に立ち合いをお願いして、消火器やAEDの取り扱い訓練を行っています。3～4日分の水や食料と備蓄品は屋外と屋内の倉庫の2ヶ所に分けて保管しています。業者による防災機器点検の際には、防災機器の操作方法について確認しています。BCPについても作成しており、職員への研修も実施しています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	17	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	理念に沿ったケアを心がけている。	入職時には接遇・個人情報保護・認知症ケア・倫理・法令順守について研修を行っています。年間研修計画にも、接遇・プライバシー・個人情報保護・認知症ケア・倫理・法令順守に関する研修が行なわれ、認知症についての理解を深めています。ケア方針にも「自己決定や、プライバシーの尊重等」を掲げており、利用者の尊厳を損なうことのないよう、留意した対応を心がけています。	今後の継続
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常のなかで訴えを聞き取れるよう支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ある程度のスケジュールを設定しているが、その日の個々の体調に合わせたケアに努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	自身にて毎日化粧される方がいたり、行事の際に職員にて装飾される等がある。		
40	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	ご家族より差し入れ等用意される食事以外でも嗜好品を楽しむ事ができる。	業者から調理された物を発注し、ご飯とみそ汁は事業所で準備しています。キッチン是对面式になっており、職員は見守りしながら準備や片付けを行っています。時期によっては、利用者と一緒に畑でナス・きゅうり・トマトなど季節野菜を栽培し、収穫した野菜を使っておかずを一品足すこともあります。誕生日には、ケーキを準備し、食事は出前を取ることもあります。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	常食だけでなく、軟食・ミキサー・ゼリー食等、個人の状態に合わせて提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	日々の口腔ケアだけでなく、必要に応じて歯科医の往診を行っている。		
43	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	定時誘導等、排泄リズムに合わせた支援を行い、希望時誘導も行う。	排泄チェック表を用いて、一人ひとりの排泄状況の把握し、時間やタイミングを見計らったトイレ誘導で、排泄の自立に向けた支援に努めています。失敗が続いた方には、失敗を減らせるよう、カンファレンスやモニタリングで支援方法を検討しながら、利用者の負担を軽減できるよう支援しています。	今後の継続
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	下剤の使用だけでなく、活動時間を作ることや、排泄での必要時間を持つことで排便を促している。		
45	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	ある程度のスケジュールを設定しているが、希望があれば入れるような仕組みとなっている。	入浴ボードに曜日と入浴予定者氏名を記入しておく、入浴前には入浴ボードを示しながら声かけすることで、入浴日を認識できるよう工夫しています。職員本位の入浴とならないよう、必ず体調や利用者の希望を確認してから、入浴を促すようにしています。拒否のある方には、時間や日にちを変更しながら対応しています。ミスト浴も完備されており、重度化して浴槽をまたぐことが困難になった方には、ミスト浴で対応しています。季節のゆずや、しょうぶ湯も行い、季節感を楽しんでいただけるようにしています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼食後より居室で臥床時間を確保している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	利用者個々の服薬一覧を作成し、その都度把握に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	居室担当者を中心に取り組み、生活に活かせるよう支援している。		
49	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	近場での散歩を中心に、行事の際には車外出等行っている。	事業所は田園や竹林、雑木林等の緑が多く長閑な環境にあります。舞岡公園まで続く道は遊歩道になっており、遊歩道に沿ってせせらぎが流れ、近くの保育園児達の散歩コースにもなっており、散歩時には園児や舞岡公園を目指して歩く方達と挨拶を交わしています。以前に比べ、人が多い場所への外出は避けており、散歩やドライブ等を定期的に行っています。	今後の継続
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭に対し執着心を持つかたもいるため、ご家族同意の下、小額の管理をされるかたもいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	個別にて携帯電話を所持されるかたもいる。また、希望時に施設電話にて使用される場合もあり。		
52	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	施設にて行ったレクリエーションの写真を飾る等、明るい生活空間になるよう努めている。	風景写真、カレンダー、季節に応じた装飾を行い、季節の生花を生け、施設内部で行ったレクリエーションの写真を飾る等、明るい生活空間になるよう努めています。2階は天井が高く開放感があり、空気の循環を良くする為に、シーリングファンを取り付けています。天窓もあり、居室や廊下、リビングは陽光が射し込み明るい空間になっています。冬場は乾燥対策として洗濯物を室内に干し、加湿器や空気清浄機も併用しながら感染症に留意しています。	今後の継続
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングや廊下にソファを設置し、食席以外にも休憩場所の確保をしている。		
54	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時、ご本人やご家族に相談し、配置の検討を行っている。	居室には、エアコン・クローゼットが完備されていますが、それ以外物については、家族と相談しながら、筆筒や飾り棚、ご自分で描かれた絵や習字の作品、机、椅子等の馴染みの物を持ち込んで頂き、壁にも写真を貼る等し、利用者にとって居心地よく過ごせるよう努めています。転倒のリスクがある場合は、家族に連絡して配置を変えることもあります。	今後の継続
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレや入浴室等に表示する用紙を張ったり、洗面台に口腔ケア用品を配置する等、使いやすい構造を心がけている。		

目 標 達 成 計 画

事業所

グループホーム舞シャンブル

作成日

令和6年3月8日

〔目標達成計画〕

優 先 順 位	項 目 番 号	現状における 問題点、課題	目 標	目標達成に向けた 具体的な取組み内容	目標達成に 要する期間
		感染状況も緩和していき、個々だけでなく他者との係わり合いのなから社会性の維持に努めていく。	家族や他利用者との係わり合いを増やし、社会性の維持・向上を目指す。	面会の条件の緩和や、ボランティアの受け入れ等、地域との繋がりを復活させていく。	1年

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。

事業所名	グループホーム舞シャンブル
ユニット名	れんげ

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域密着型に沿った理念のもと、全職員にてケアを行っている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	年末にボランティアの受け入れ再開を検討していたが、インフルエンザ流行にて再開延期となる。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	ほとんどが電話対応となっているが、時期を見て訪問したい方が若干増加傾向にあり。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	今までの書面開催から、対面方式に戻りつつあるが、参加者の確保が困難。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	横浜市・戸塚区主催のグループホーム連絡会に参加し、意見交換を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	定期的なアンケート・研修を行い、身体拘束についての理解に努めている。		
7	6	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	定期的な研修等にて努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在の入居者様では生活保護者での該当者が多く、都度支援させていただいている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	努めている。		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	電話連絡や書面・電子メールでの連絡の際に、意見を交換できるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	2ヶ月に一度のカンファレンスを再開し、各職員と意見を交換する場を設けている。		
12	9	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	シフト作成の際に個々の生活の考慮し、バランスを取っている。		
13	10	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	努めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	電話やオンラインを中心として交流を図っている。最近では徐々に対面も復活してきている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	状況に合わせた提供を考慮し、都度話し合いのなかで検討している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	レクリエーション等を通して他者との関わりの増加を図っている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族面会の制限を緩和し、時間の確保に努めている。		
20	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	職員間だけでなく、外出等を進め、関係の維持に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員を介して他者とのコミュニケーションの機会の増加を促している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	関係の継続に努めているが、他利用者様との関係が継続することが困難。（面会制限等）		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人からの訴えを第一としているが、訴え内容が抽象的だったり、達成困難な場合等、ご家族の力も借りている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人の希望はもちろん、家族からの要望にも合わせた計画の作成を行っている。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個々の記録により把握に努めている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	外出等の機会を増やし、継続した支援に努めている。		
30	14	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	決まった往診だけでなく、希望にあわせ受診できるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	定期的に変化を記録し、医師・看護師が把握しやすいように努めている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	救急搬送の場合にかかる医療機関関係者との連絡を小まめに行い、入・退院時の対応の相談を行っている。		
33	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	施設内にて行える範囲を明確化し、状況に応じて往診医との話し合いの場を設けている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的な研修の場で身に付けるよう努めている。		
35	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	半年に一度の避難訓練を行い、夜間想定型など、その都度内容変化し行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	17	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	理念に沿ったケアを心がけている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常のなかで訴えを聞き取れるよう支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ある程度のスケジュールを設定しているが、その日の個々の体調に合わせたケアに努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	自身にて毎日化粧される方がいたり、行事の際に職員にて装飾される等がある。		
40	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	ご家族より差し入れ等用意される食事以外でも嗜好品を楽しむ事ができる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	常食だけでなく、軟食・ミキサー・ゼリー食等、個人の状態に合わせて提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	日々の口腔ケアだけでなく、必要に応じて歯科医の往診を行っている。		
43	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	定時誘導等、排泄リズムに合わせた支援を行い、希望時誘導も行う。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	下剤の使用だけでなく、活動時間を作ることや、排泄での必要時間を持つことで排便を促している。		
45	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	ある程度のスケジュールを設定しているが、希望があれば入れるような仕組みとなっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼食後より居室で臥床時間を確保している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	利用者個々の服薬一覧を作成し、その都度把握に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	居室担当者を中心に取り組み、生活に活かせるよう支援している。		
49	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	近場での散歩を中心に、行事の際には車外出等行っている。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭に対し執着心を持つかたもいるため、ご家族同意の下、小額の管理をされるかたもいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	個別にて携帯電話を所持されるかたもいる。また、希望時に施設電話にて使用される場合もあり。			
52	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	施設にて行ったレクリエーションの写真を飾る等、明るい生活空間になるよう努めている。			
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングや廊下にソファを設置し、食席以外にも休憩場所の確保をしている。			
54	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時、ご本人やご家族に相談し、配置の検討を行っている。			
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレや入浴室等に表示する用紙を張ったり、洗面台に口腔ケア用品を配置する等、使いやすい構造を心がけている。			

目 標 達 成 計 画

事業所

グループホーム舞シャンブル

作成日

令和6年3月8日

〔目標達成計画〕

優 先 順 位	項 目 番 号	現状における 問題点、課題	目 標	目標達成に向けた 具体的な取組み内容	目標達成に 要する期間
		感染状況も緩和していき、個々だけでなく他者との係わり合いのなから社会性の維持に努めていく。	家族や他利用者との係わり合いを増やし、社会性の維持・向上を目指す。	面会の条件の緩和や、ボランティアの受け入れ等、地域との繋がりを復活させていく。	1年

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。